

選択科目(公民)

政治・経済

〈出題内容・形式・配点〉

内容	形式	配点	試験時間
I 政治改革と選挙制度	記述	35	
II グローバルな国家間の格差(南北問題、グローバルサウス)	記述	35	
III 働き方についての問題	記述	30	
合計		100	

【出題の基本方針】

基本的な出題形式は大問3つ、内訳は政治2問+経済1問、または、政治1問+経済2問の組み合わせであった。もっとも、政治と経済は密接な関係にあることから、政治と経済の複合的(総合的)な大問となる場合もある。トピックとしては日本国内の事例もあれば世界的事例や国際的問題もある。

【学習のポイント】

- ・基本的な出題範囲は、教科書、資料集、ならびに、用語集である。教科書は複数の出版社から刊行されており、A社の教科書にある記述が、B社の教科書には無い場合もある。また、ある記述が1社の教科書のみの場合もある。したがって、資料集や用語集などで補充することが必要である。
- ・また、各教材中の「資料」(日本国憲法を含む)「図表」「グラフ」「年表」などについても、数値など細部まで目を配ることが必要である。
- ・さらに、教科書に記述のない新しい時事問題についても、日頃からニュース等を通じて、正確な知識にもとづく理解を深めることが望まれる。